



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 京阪電気鉄道株式会社
 コード番号 9045 URL <http://www.keihan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括室 経理担当部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 加藤 好文

(氏名) 前本 敏邦

TEL 06-6944-2527

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	61,263	2.7	4,994	△5.3	4,165	△6.9	2,396	△6.1
23年3月期第1四半期	59,659	3.2	5,272	52.1	4,476	74.7	2,553	93.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,182百万円 (△37.1%) 23年3月期第1四半期 1,878百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.26	—
23年3月期第1四半期	4.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	600,967	136,222	22.2
23年3月期	606,229	136,352	22.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 133,712百万円 23年3月期 133,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	△0.9	7,000	△24.1	4,300	△39.4	2,500	△38.9	4.44
通期	256,300	△1.2	15,000	△7.8	9,500	△19.8	5,700	△12.0	10.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	565,913,515 株	23年3月期	565,913,515 株
24年3月期1Q	3,480,308 株	23年3月期	3,476,511 株
24年3月期1Q	562,436,165 株	23年3月期1Q	562,610,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益において一部改善が見られるものの、長期化する円高や、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題などにより先行き不透明感を拭えない状況が続いております。

このような経済情勢のもとにおきまして、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は612億6千3百万円（前年同期比16億3百万円、2.7%増）、営業利益は49億9千4百万円（前年同期比2億7千7百万円、5.3%減）となり、これに営業外損益を加減した経常利益は41億6千5百万円（前年同期比3億1千万円、6.9%減）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等を控除した四半期純利益は23億9千6百万円と、前年同期に比較して1億5千6百万円（6.1%）の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の状況

	営業収益			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
運輸業	24,614	23,235	△5.6	2,984	2,401	△19.5
不動産業	9,060	11,380	25.6	1,677	2,148	28.0
流通業	22,742	23,558	3.6	505	506	0.3
レジャー・サービス業	5,828	5,551	△4.8	180	△49	—
その他の事業	332	325	△2.1	△75	△38	—
計	62,577	64,050	2.4	5,272	4,968	△5.8
消 去	△2,917	△2,787	—	△0	26	—
連 結	59,659	61,263	2.7	5,272	4,994	△5.3

①運輸業

鉄道事業における当第1四半期連結累計期間の当社の運輸成績は、総旅客数は7,195万人と、前年同期に比較して136万人（1.9%）の減少となり、これに伴い、当社の旅客運輸収入は125億6千2百万円（前年同期比2.3%減）、これに運輸雑収を加えた鉄軌道事業営業収益は133億2千4百万円と、前年同期に比較して3億5百万円（2.2%）の減収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は232億3千5百万円と、前年同期に比較して13億7千8百万円（5.6%）の減収となり、営業利益は24億1百万円と、前年同期に比較して5億8千3百万円（19.5%）の減益となりました。

②不動産業

不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「ローズヴィレッジくずはⅡ」「ローズプレイス京阪宇治」などの土地建物を販売いたしました。また、マンションでは、「ビジュアル琵琶湖」「京阪東ローズタウン・ファインガーデンスクエア」「ザ・香里園タワー」などを販売いたしました。不動産賃貸業におきましては、平成22年9月30日に取得した賃貸ビル「京阪御堂筋ビル」が通期で寄与いたしましたほか、更なる事業の拡大・強化をめざし、平成23年4月28日に東京都千代田区において賃貸ビル「永新ビル」を、平成23年6月20日に東京都世田谷区において賃貸ビル「みかみビル」を新たに取得いたしました。また、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は113億8千万円と、前年同期に比較して23億2千万円（25.6%）の増収となり、営業利益は21億4千8百万円と、前年同期に比較して4億7千万円（28.0%）の増益となりました。

③流通業

百貨店業におきましては、平成22年10月8日に開業した「京阪百貨店住道店」が通期で寄与いたしましたほか、各事業において積極的な営業活動に努めました結果、流通業全体の営業収益は235億5千8百万円と、前年同期に比較して8億1千6百万円（3.6%）の増収となり、営業利益は5億6百万円と、前年同期に比較して1百万円（0.3%）の増益となりました。

④ レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、インバウンド旅客の誘致や価格訴求型プランの販売など、積極的な営業活動を展開し、稼働率の向上及び収益力の強化に努めました。

しかしながら、消費不況に加え、特にホテル事業において東日本大震災の影響を強く受けたことなどにより、レジャー・サービス業全体の営業収益は55億5千1百万円と、前年同期に比較して2億7千7百万円(4.8%)の減収となり、営業損失は4千9百万円と、前年同期に比較して2億2千9百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より52億6千2百万円(0.9%)減少し、6,009億6千7百万円となりました。これは、現金及び預金が120億1千6百万円、受取手形及び売掛金が62億1千3百万円減少し、土地が76億3千3百万円増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末より51億3千1百万円(1.1%)減少し、4,647億4千4百万円となりました。これは、短期借入金が43億2千2百万円、長期借入金が27億1千2百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より1億3千万円(0.1%)減少し、1,362億2千2百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が13億1千万円減少し、利益剰余金が11億1千6百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、東日本大震災による経済活動に与える影響なども懸念され、依然として厳しい状態が続くと予想されますが、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は前回公表予想並に推移していく見込みであります。したがって、現時点において、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は前回公表数値(平成23年5月10日)から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,853	14,837
受取手形及び売掛金	21,397	15,184
有価証券	21	410
販売土地及び建物	71,752	73,718
商品	1,824	1,813
繰延税金資産	3,003	3,382
その他	8,102	9,311
貸倒引当金	△164	△171
流動資産合計	132,791	118,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	183,133	184,224
機械装置及び運搬具（純額）	12,684	12,207
土地	197,557	205,190
建設仮勘定	21,060	20,068
その他（純額）	8,067	7,759
有形固定資産合計	422,503	429,451
無形固定資産	7,816	8,597
投資その他の資産		
投資有価証券	28,513	29,211
長期貸付金	375	373
繰延税金資産	4,681	5,219
その他	9,704	9,784
貸倒引当金	△157	△158
投資その他の資産合計	43,117	44,430
固定資産合計	473,437	482,479
資産合計	606,229	600,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,603	9,176
短期借入金	90,756	86,433
1年以内償還社債	10,287	10,342
短期社債	2,000	10,000
未払法人税等	3,873	2,124
繰延税金負債	3	4
前受金	18,383	18,816
賞与引当金	2,606	1,081
商品券等引換損失引当金	280	284
関係会社整理損失引当金	166	92
その他	38,928	36,082
流動負債合計	176,890	174,439
固定負債		
社債	61,054	61,519
長期借入金	136,985	134,273
長期未払金	7,844	7,812
繰延税金負債	5,907	5,934
再評価に係る繰延税金負債	41,313	41,313
退職給付引当金	15,323	15,259
役員退職慰労引当金	644	557
その他	23,912	23,635
固定負債合計	292,985	290,305
負債合計	469,876	464,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,819	28,819
利益剰余金	24,430	25,547
自己株式	△1,347	△1,348
株主資本合計	103,369	104,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,757	3,446
土地再評価差額金	25,780	25,781
その他の包括利益累計額合計	30,538	29,227
少数株主持分	2,445	2,509
純資産合計	136,352	136,222
負債純資産合計	606,229	600,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年6月30日)
営業収益	59,659	61,263
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	48,497	50,271
販売費及び一般管理費	5,890	5,997
営業費合計	54,387	56,268
営業利益	5,272	4,994
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	308	287
持分法による投資利益	25	—
雑収入	346	310
営業外収益合計	689	602
営業外費用		
支払利息	1,316	1,268
持分法による投資損失	—	5
雑支出	168	157
営業外費用合計	1,484	1,431
経常利益	4,476	4,165
特別利益		
工事負担金等受入額	238	534
補助金	174	157
固定資産売却益	—	1
抱合せ株式消滅差益	34	—
貸倒引当金戻入額	30	—
その他	23	—
特別利益合計	500	693
特別損失		
固定資産圧縮損	226	481
投資有価証券評価損	7	29
特別退職金	—	10
固定資産除却損	6	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	175	—
特別損失合計	416	530
税金等調整前四半期純利益	4,561	4,328
法人税、住民税及び事業税	1,990	2,194
法人税等調整額	△119	△359
法人税等合計	1,871	1,834
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	2,494
少数株主利益	136	97
四半期純利益	2,553	2,396

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月 1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	2,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△811	△1,311
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△811	△1,312
四半期包括利益	1,878	1,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,769	1,086
少数株主に係る四半期包括利益	108	95

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	23,993	7,026	22,639	5,799	200	59,659	—	59,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	620	2,033	102	29	131	2,917	(2,917)	—
計	24,614	9,060	22,742	5,828	332	62,577	(2,917)	59,659
セグメント利益又は損失(△)	2,984	1,677	505	180	△75	5,272	(0)	5,272

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	不動産業	流通業	レジャー・サービス業	その他の事業	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
外部顧客への売上高	22,649	9,352	23,497	5,542	220	61,263	—	61,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	586	2,027	60	8	104	2,787	(2,787)	—
計	23,235	11,380	23,558	5,551	325	64,050	(2,787)	61,263
セグメント利益又は損失(△)	2,401	2,148	506	△49	△38	4,968	26	4,994

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。